

輝くあさひ

第 7 4 号

発行 朝陽地区住民自治協議会
会長 本藤 俊彦
編集 広報部
印刷 株式会社 双真

謹賀新年

令和八年 元旦

「雨晴海岸」写真提供：竹内正樹様（南屋島）

新年あけましておめでとうございます。

朝陽住民自治協議会会長 本藤 俊彦

朝陽地区の皆様におかれましては、日頃から住自協の活動に深いご理解とご協力を頂き心より感謝申し上げます。
振り返りますと昨年は社会・経済・環境のあらゆる分野において大きな変化と転換を実感する一年でありました。
我が国では初の女性総理大臣が誕生し、金や株式市場は史上最高値を更新し、また気候変動の影響が一層顕著となり、人口減少の加速、少子高齢化、インバウンド増大など時代はかつてないスピードで動いており新たな局面を迎えています。
同時に身近では年間800万人の集客を見込むイオンモールがオープンし、東外環状線の4車線化工事も始まり、私たちの暮らしにも大きな変化をもたらす様になりました。
このような変化の時代において、朝陽地区が大切にしてきた「顔の見える地域の繋がり」や「支え合う地域の力」を守りながら「変化に柔軟に対応する新しい発想」を取り入れ、朝陽住自協として活動の充実及びリフレッシュをしてみたいと思います。
最後に皆様一人ひとりのご参加とご協力をお願い申し上げますと共に、朝陽地区が笑顔と活力に満ちた一年になりますよう、心よりお祈り申し上げます。
本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

「新年のご挨拶」

長野市役所朝陽支所 支所長 高池 慎一

新年、あけましておめでとうございます！
朝陽地区の皆様には、晴れやかな新春をお迎えのことと心よりお喜び申し上げます。
さて、昨年1年間を振り返りますと、昨年10月に長野市長選挙が行われ、荻原市長が2期目の市政を担うこととなりました。
朝陽支所といたしましても、荻原市政のもと地域の皆様とともに、より良い朝陽地区づくりに取り組んでまいります。
夏には、朝陽地区の風物詩「あさひ・ふるさと夏祭り」が開催されました。私もポップコーンの売り子として参加し、大変にぎわいの中、朝陽地区の楽しい雰囲気を感じさせていただきました。このお祭りは、老若男女が集い活気と笑顔を生み出す地域活性化の貴重なイベントだと感じています。
また、朝陽地区住民で構成される「あさひかがやき実行委員会」による菊芋の栽培にも携わらせていただいております。地域の皆様と一緒に汗をかきながら作物を育てる取り組みは、私にとっても貴重な経験ですが、地域住民の皆様がお互いに交流を深めることのできる素晴らしい活動でもあると感じています。
朝陽地区には約15,000人が暮らしており、子供たちの元気な声が響く学校も複数あります。全国的な人口減少が課題となる中、朝陽地区の活力は地域の宝です。
新しい年が、皆様にとって笑顔あふれる素晴らしい一年となりますよう心よりお祈り申し上げます。
本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

朝陽地区住民自治協議会

（事務局）長野市北尾張部226-9
電話・fax 026-219-1068
ホームページ <http://asahi-jk.jp>

朝陽地区人口：14,812人（6） 6,520世帯（-2）

=2025年12月1日現在。（ ）内は同年前月比

（内訳）南屋島 780 人（-2）	北屋島 470 人（-4）	北長池 2,502 人（+10）
北尾張部 2,446 人（+11）	石渡 2,594 人（±0）	南堀 2,651 人（-12）
北堀 2,516 人（+1）	桜新町 853 人（+2）	

水防講演会 (5/26)

「千曲川の治水対策と流域治水」

5月26日、朝陽支所集会室で、朝陽地区水害防止対策委員会等の主催で、地域国土強靱化研究所（茨城県）の顧問・末次忠司博士による掲記講演会が開催された。

氏は河川工学や防災の分野で活躍されている専門家で、水害対策や流域治水に関する書籍を数多く執筆されている。

講演では、全国の越水破堤の8割が越水開始から2時間以内に発生していることや、河川の合流後は川幅が7割程度に狭くなっているところが多く（千曲川と犀川も同様）、合流で流れが乱れるため、合流点では約2割の水位上昇、越水が発生しやすいことなどの問題を指摘された。具体的に当地区の場合、河川勾配1/1000、流量／川幅が10m³/秒の条件では、1mの水位上昇に及ぶことを説明された。更に洪水のスムーズな流下のために、狭窄部のみならず河道（高水敷、砂州）の掘削や、樹木の伐採が重要であるとともに、堤防本体の土質（砂礫など昔の河床跡は浸透しやすい）に留意して適切な浸透対策が必要であることに言及された。

後半は、従来の総合治水から流域治水への方策転換について、成功の秘訣など詳細なお話をいただいた。流域治水は、行政、一般住民、対象地域住民の立場で利害関係、治水効果、経済効率等について良く議論・吟味して対策を推進させる必要があることが強調された。



福祉と防災のセミナー (8/2)

～災害現場から見た地域のつながり～（みんなで考える防災 場所・モノ・ことマップ）

8月2日、長野市柳原交流センターにてNPO法人さくらネット代表理事 石井布紀子さんによる福祉セミナーが行われました。

石井さんは、1995年の阪神淡路大震災にて自身が被災し、2004年の新潟中越地震以降国内だけでなく海外の被災地へ出向き、災害VCを作成し復興に向けた支援だけでなく福祉救援や防災教育など活動を各地で行っています。

第1部では「防災ささえあいマップの可能性について」の講演をしていただきました。講演では、災害時生命やくらしを守るには、平時の地域活動がどれだけ大切な事であるか、その為に何が出来るのかをお話いただきました。例えば訪問活動、お茶会、お祭りなど人と人のつながりを通して災害時の救出につながった事例もあるそうです。

また、体験を語り継ぐ事も大切だという事で、2019年10月の台風19号により職場である長沼の「りんごの里」の当時施設長を務めていた方に被災体験を話していただく事ができました。災害発生時、入所者84名・職員14名全て2階への避難しその後1日かけて他の施設への無事避難が出来たのは平時の避難訓練や施設同士の連携、つながりが役に立ったという事でした。そして避難指示が出たら、まずは避難をする事が命を救うと言うことです。

もうひとつは「防災マップ」の可能性です。地図上で可視化する事で災害が起きた時に支援の役に立つツールになります。

第2部では、各地区に分かれて実際に「防災社会資源マップ」を作りました。避難所をはじめ、井戸や軽トラックの有無、AEDや消火栓、危険箇所の確認等、地図にシールで印を付けて可視化しました。すると、水害の際避難所が無い、同じ地区でも常会によって資源のバラつきがあるなど今の地区の状況を把握する事ができました。今後いつ起こってもおかしくない災害に向けて地域同士のつながりや施設、会社、学校との連携を計り、出来ることから行動することの大切さを学べたセミナーとなりました。



朝陽地区敬老会 (9/13)

9月13日(土)、長野市立朝陽公民館体育館において『令和7年度朝陽地区敬老会』が開催され、77名の方が参加しました。

式典の部では、主催者あいさつ来賓祝辞に続き、朝陽小学校校長の水上様からお祝いの言葉をいただきました。

演芸の部では、朝陽音頭が朝陽音頭保存会の皆様により披露され会場が盛り上がりしました。

また、OtoProject (オトプロジェクト) の外山 賀野(とやま かの)さん(チェロ)と腰原 菜央(こしはら なお)さん(ピアノ)による素敵な演奏で心地よい雰囲気に包まれました。アンコールの「上を向いて歩こう」の曲では、参加した皆さんが手拍子をして一緒に歌いました。

万歳三唱で閉会となりました。皆様の健康と長寿をお祈り申し上げます。



戦没者等追悼式 (9/23)

9月23日午前10時より、朝陽支所2階にて戦没者等追悼式が行われ、各地区の遺族会員や市議会議員、住自協役員など37名が参列しました。

開式に先立ち黙とうが捧げられ、長野市遺族会の堀副会長、長谷川朝陽地区遺族会会長、住自協の本藤会長から追悼のことが述べられました。

戦後80年を迎え、平和が続いている事への感謝とともに、戦争の記憶を次代に語り継ぐ重要性が語られました。

この後、参列者による献花が行われました。



青少年健全育成推進大会 (10/18)

10月18日(土)午後1時30分から、朝陽支所で「青少年健全育成推進大会」が開催された。主催は教育・文化部会。今回のテーマは「家庭・地域での子育て」で、長野市家庭・地域学び課の指導主事・武田文夫氏が講師を務めた。

武田氏は絵本『ラブ・ユー・フォーエバー』等を紹介しながら、家庭教育・学校教育・地域教育を通し、子どもを支えることの重要性を述べた。

講演の途中には、じゃんけんゲームやグループディスカッションも行われ、参加者同士が和やかに意見を交わす場面も見られた。会場は終始穏やかな雰囲気に包まれ、子育てを通じた地域の絆を感じられるひとときとなった。



北 堀 宵祭り・秋祭り

10月4日、堀神社の例祭「宵祭り・秋祭り」が、堀神社氏子総代、区、育成会そして北堀神楽保存会によって執り行われました。

午後1時、心地良い秋風の中、子ども神輿巡行が堀神社を出発。

参加した60余名の子ども達がワッショイワッショイと区内東西をねり歩き、秋祭りの神輿奉納を楽しみました。

夕方4時、東方西方2基の神楽に笛と鐘、太鼓を奏でる宵祭りの神楽巡行の列が公会堂を出発しました。

ふるまいを頂き歓談を楽しんだ奉納宅と、仕掛け花火と舞台が設営された堀神社では、鍛錬を重ねた獅子舞と三番叟の奉納舞に、大勢が魅了されました。



南 堀 槻井泉神社秋祭り



9月20日(土)、時折恵みの雨が降る中、槻井泉神社秋祭りの宵祭りが行われました。神楽行列は公民館を17時に出発し東廻りと



西廻りの二手に分かれて、お囃子の笛や鉦(かね)や太鼓をリズムカルに響かせ、個人宅や病院など計12ヶ所で獅子舞を行いながら区内全域を巡行しました。

20時頃に再び公民館で合流し供揃いして神社で宮司による神事と神楽奉納が行われました。

氏子総代、区、常会長、組長他関係者の方々。そして、この日のために一生懸命練習を頑張った南堀神楽保存会の皆さん!お祭りを盛り上げていただき、ありがとうございました。

桜新町 ボウリング大会



8月2日、長野市のヤングファラオで、育成会と桜新町公民館共催のボウリング大会が開催されました。大人10名、子供28名、総勢38名が参加。

おばあちゃんと3世代でご参加の家族や、毎週のようにボウリングを楽しんでおられるというベテランの年輩者もおられ、お互いの投球に拍手したり、ハイタッチで喜びあったり、あちこちから歓声があがっていました。

大人の部、低学年、高学年の部それぞれ1位から3位までと、プービー賞に賞品が送られました。

子どもたちの賞品はくじ引きという、もう一つの楽しみもありました。表彰式も盛り上がり、笑顔の溢れる大会となりました。

北尾張部 北尾張部親善体育祭

北尾張部公民館主催の「北尾張部親善体育祭」が10月19日(日)午前、長野盲学校のグラウンドで開催されました。

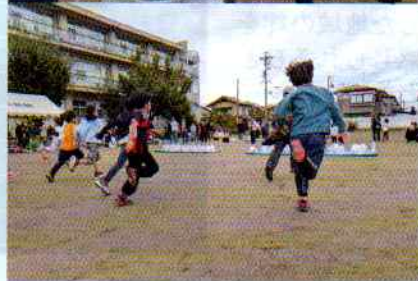
天気は曇り、運動するにはちょうど良い気候の中、北尾張部区の方たくさんの方が笑顔で参加していました。

〇×クイズやジャンケン大会で和やかに盛り上がる一方、年配の方を対象とした「新太公望」では、元気いっぱいに景品を釣り上げる姿が印象的でした。

子ども達は「おみやげ運び」で走り回り、歓声を上げながら景品を手にしていました。

また、4人一組で新聞紙を使いボールを運ぶ「落とさないでね!ボール運び」では、チームワークが試され白熱。

最後はビンゴ大会と大抽選会で締めくくられ、世代を超えて交流が深まる楽しい一日となりました。



石 渡 “童心に帰る夢賛歌”が開催されました♪

8月19日(火)石渡公民館にて“おとなの祭り”主催で“童心に帰る夢賛歌”が開催され、22名の参加がありました。

ギター伴奏に合わせて、「信濃の国」「ふるさと」など昔懐かしい曲や「おかげたやきくん」と曲は多岐にわたり、5曲は毎回歌うおなじみの曲で、他に20曲ほど歌い楽しみました。

参加した方は、自分の居場所ができて嬉しい、参加できない時は寂しい、ここで出会って一緒に歌う事で童心に帰り、昔を思い出す事にもつながっています。と感想を話されました。

主催者の関保雄さんによると「“おとなの祭り”は6人のボラン



ティア有志と伴奏者で運営しています。コロナで外出を自粛する中、人と会う機会が少なくなったお年寄りのお手伝いが出来ないかとの思いから始まりました。当初は映画鑑賞でしたが、事情により3回で中止となり“童心に帰る夢賛歌”として新たにスタートしました。」とのことでした。

北長池 北長池公民館文化祭



9月21日北長池公会堂にて北長池公民館文化祭が開催されました。

毎年恒例の鉄道模型に加え絵画、書、生花、写真、手芸などたくさんさんの作品が出展されました。

今年も縁日コーナーや包丁研ぎ・囲碁将棋コーナーを設け老若男女、皆さんに楽しんでもらえる文化祭になるよう準備をし、当日は100名以上の地域の方々にご来場いただきました。

展示コーナーをじっくり見学、射的やスーパーボールすくいで盛り上がり、囲碁将棋の対戦に挑戦したり、わたあめ・ポップコーンを食べながら休憩とそれぞれ文化祭を満喫する姿がみられました。

北屋島 北屋島区民運動会

10月5日(日)、秋晴れの空のもと、第44回北屋島区民運動会がリバーフロントのグラウンドで盛大に開催されました。

朝から多くの区民が集まり、世代を超えた交流と熱戦が繰り広げられました。

競技では、お玉にピンポン玉を載せて走る

「玉タリレー」やマラソン、旗ひろい、大縄跳びなど、楽しい種目が続き、応援にもたいへん熱が入っていました。

中でも注目を集めたのは、大縄跳び。常会ごとの対抗戦では、跳ぶたびに歓声が上がり、会場は熱気に包まれました。

また、常会対抗の「楽しくリレー」では、代表メンバーが全力でバトンをつなぎ、観客の声援がひときわ大きく響いていました。

北屋島の秋の風物詩として親しまれている区民運動会。地域の元気とつながりを育むこの行事は、これからも多くの笑顔を生み出してくれそうです。



南屋島 ふれあい研修

南屋島の「ふれあい研修」バス旅行は9月6日に開催し、最近では最多となる36名が参加しました。

駒ヶ根の光前寺では早太郎伝説の境内を散策し、養命酒工場を見学後、岡谷市の老舗「漬物」でおいしい鰻重の昼食を堪能しました。

午後は蚕糸博物館、諏訪大社の参拝、茅野市の丸井伊藤商店発酵パークで味噌造りの工程を学び、土産物も購入。

渋滞にも関わらず18時20分に無事帰着し、親睦を深める充実した一日となりました。



朝陽地区球技大会(9/28)

9月28日(日)、第57回朝陽地区親善球技大会が晴天のもと開催され、5会場で6種目の熱戦が繰り広げられました。子どもから大人まで多くの参加者がスポーツを通じて交流を深めました。

朝陽公民館と朝陽小学校の体育館では、小学生高学年と低学年によるドッジボールが行われました。

本格的な試合形式で実施され、高学年は大人顔負けなボールが飛び交い、低学年は兄さんお姉さん達が下級生を引っ張りながら、どちらも白熱した試合が繰り広げられました。

同グラウンドでは、世代を超えたチームによるベタנקも行われ、和やかな雰囲気の中、戦術とチームワークが光る場面が見られました。

長野東高校体育館ではソフトバレーボールが行われ、軽快なラリーに笑顔と真剣さが交錯。グラウンドでは野球とグラウンドゴルフが行われ、正確なショットや好プレーに歓声が上がり、終日盛り上がりました。

大会の成功は、準備や運営に尽力いただいた関係者の皆様のおかげです。心より感謝申し上げます。

順位	野球	9人制ソフトバレーボール	グラウンドゴルフ	ベタנק	ドッジボール(高学年)	ドッジボール(低学年)
1位	石渡	北堀	南堀	北尾張部A	北尾張部ウィンズS	北尾張部ウィンズリトル
2位	北堀	北長池	北長池A	北尾張部B	北長池Jr.ドッジボールB	北尾張部ウィンズキッズ
3位	南屋島	石渡	北屋島	石渡B	南北屋島合同チームA	北堀B
3位	北長池				石渡・桜ファイターズA	桜ファイターズB



●家具オフィスプランニング ●OA・IT ●文具サプライ



株式会社

丸 陽

本社・営業部/〒386-0012 上田市中央2-5-10 TEL 0268-22-2400 FAX 0268-27-8787
長野支店/〒381-2206 長野市青木島町綱島490-5 TEL 026-283-1108 FAX 026-283-8108



学校法人
理知の杜

松本国際高等学校

通信制長野学習センター

長野市北尾張部385 赤沼ビル 1F B ☎026-243-1379

完全個別指導塾

学研C/AIスクール

対象:小学生、中学生、高校生
教科:国語、算数、数学
英語、理科、社会

学校の授業がもっとよくわかる!!
学研の個別指導塾

尾張部教室 TEL (026) 256-9131 長野市北尾張部385



読む力・考える力 伸びる学力

学研教室

幼児/算数・数学・国語/英語

学研 北尾張部教室 長野市北尾張部385 256-9131